

やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより

令和5年5月吉日 第185号

編集・発行 長澤 辰夫

春をイメージさせる美しい言葉2 「青嵐」

春、特に5月をイメージする言葉として「青嵐（あおあらし・せいらん）」という言葉を見つけました。これも知らなかった言葉で、語彙の乏しさを反省しています。「青嵐」の意味は、初夏の青葉を揺すって吹き渡るやや強い風のことです。強い風が吹くと、外に出るのもおっくうになりがちですが、この言葉を知っていると、青空のもと、まぶしい新緑を揺らして吹く風を体感してみようという気になってきます。不思議なものです。

ありがとう！ 1年生の清掃活動

入学してまもない1年生が、熱心に清掃に取り組んでいました。校内の様々な場所で黙々と掃除をする1年生の姿をみることができ、とても、感動しました。

本校にある「東中ブランド」のひとつ、美しい環境作りを実践してくれていることをうれしく思うとともに、東中生としての品格を磨く習慣が、知らず知らずのうちに身につけていくことを願っています。



思いで深い、よい修学旅行でした！

5月24日（水）～26日（金）にかけて、稲沢市の中学校のトップを切って修学旅行に行ってきました。3日間、天候に恵まれ、思い出に残るよい旅行となりました。子どもたちは、国会で審議体験をしたり、警視庁や防衛省を見学したり、また、ディズニーシーで仲間と思いきり楽しんだりして、本当に中身の濃い、よく考えられた3日間を過ごしていました。行く先々で、規律正しく行動する子どもたちの姿を誇らしく思う自分がいました。



